

企画展「横浜と富岡を結ぶ絹の道～開港から世界へ、近代日本を支えた生糸～」

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、日本の近代化を支えた養蚕・製糸の技術と、その発展を今に伝える重要な遺産です。

そして、横浜は、幕末の開港以降、生糸輸出の拠点として急速に発展し、群馬をはじめとする生糸の生産地と「絹の道」によって結ばれていました。

本企画展では、日本の近代化において横浜と富岡が果たした役割について、分かりやすくご紹介します。ぜひ、ご来場ください。

1 会期 令和8年9月2日(水)から9月24日(木)まで

2 開場時間
9時～17時（最終入場 16時30分）

3 会場
富岡製糸場 西置繭所 多目的ホール

4 入場料
観覧には富岡製糸場の見学料が必要

5 主な展示内容
●プロローグ
●横浜開港のインパクト
●富岡製糸場と絹産業遺産群
●エピローグ 横浜へ出かけよう

6 主催
群馬県（協力：横浜開港資料館）



令和8年度文化芸術振興費補助金
（文化観光拠点施設を中核とした地域
における文化観光推進事業）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

